

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	780-1416
平成18年度部名	経済部	課名	津久井経済課	課長名	佐藤
平成19年度部名	経済部	課名	津久井経済課	課長名	佐藤
事務事業名	森林ミュージアム推進事業				
予算上の事務事業名	交流の里推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			31520	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				
施策名	第2施策 特色ある都市農業の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	交流の里推進事業 農とみどりの整備事業実施要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	つくいふるさと村・森林ミュージアム基本構想		宮が瀬湖周辺の南山・東山などの自然を総合的に活用し、レクリエーション、教育の場、地域経済への寄与等を整備理念とし事業を計画するもの。		
計画年次	平政5	年度～		年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入		5 事業開始年度	平成5年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
平成4年度に計画された宮が瀬湖畔の3拠点整備計画から対象外となった南山・東山などの自然を総合的に活用し、自然体験など都市との交流の場の整備、また、その場を利用し地域で生産された農畜産物の販売を促進することで地域農業と経済の活性化を図る。				対象区域 435ha	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の推進を図るため、庁内に検討ワーキングを設置し検討する。</li> <li>・地域の団体へ運営費補助金 韮尾根地区森林ミュージアム推進委員会 35千円 事業検討：都市との交流促進、農業生産の拡大、農産加工交流施設の整備など</li> <li>・農道整備 1路線(連携事業)</li> </ul>					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
相模原市観光振興計画を策定している。(その中へ事業を位置付けを検討)					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	35	100	100
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	400	400	400
事業コスト合計	0	0	435	500	500
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	韮尾根地区森林ミュージアム推進委員会補助金			対象名称 と単位	団体 1団体
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	35	100	100
対象数	0	0	1	1	1
単位あたり経費(円)	0	0	35,000	100,000	100,000
前年度比		0.00	0.00	2.86	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	会議開催回数の前年度比	指標式と指標の説明	当年度開催回数 / 前年度開催回数 事業の取り組み状況を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	10.0		
目標	0.0	0.0	8.0	8.0	8.0
目標達成度(%)	0.0	0.0	120.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	体験教室などの事業実施回数	指標式と指標の説明	当年度実施回数 ÷ 前年度実施回数 × 100 = 利用率(%) 事業へ向けての取り組み状況を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	6.0		
目標	0.0	0.0	6.0	6.0	6.0
目標達成度(%)	0.0	0.0	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	: 良好な状態を維持する事業			
	[ ]	: 概ね良好な状況である事業			
	[ ]	: 見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域の考え方をまとめる組織であるので、その機能を充分発揮できるような組織として検討を図る。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
他の地域の取組などを参考にし検討することで、事業の取組の促進が図られる。			地域の土地利用について多数の意見があり、地域として何ができるか等、十分な検討が必要である。 また、実施事業により名称変更についても検討していく。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		推進協議会との協議を進め、速やかに事業の再構築を図る。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			